

自分で守る 地域で守る



被害を最小限にするのは、住民のみなさんの力です。

災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」が不可欠です。この3つの連携が円滑なほど、被害は軽減できます。

自助

一人ひとりが自分の身の安全を守る

- 非常用持出品・備蓄品の準備
- 避難所・避難経路の確認
- 屋内・屋外の点検・補強
- 自分の判断で避難 など



共助

地域や身近にいる人同士が助け合う

- 自主防災組織による防災の取組 など

減災

公助

国や地方公共団体などの取組み

- 公的機関による救援・救出、復旧活動 など

市役所からの避難情報

令和3年度の災害対策基本法の改正から避難勧告は廃止され、避難指示(警戒レベル4)で必ず全員が避難することになりました。下記の表を参考にいざという時には命を守る行動をとしましょう。

警戒レベル		防災気象情報 (気象庁などが発表)	避難情報等 (市が発令)	住民がとるべき行動
警戒レベル 5	災害発生 又は切迫	氾濫発生情報、 大雨特別警報等	緊急安全確保 ※1	発令を待ってはいけません！ 既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動を取りましょう。
警戒レベル4までに必ず避難！				
警戒レベル 4	災害の おそれ高い	氾濫危険情報、 土砂災害警戒情報	避難指示	全員避難！ 速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル 3	災害の おそれあり	氾濫警戒情報 大雨・洪水警報	高齢者等避難 ※2	高齢者などは避難開始！ 避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル 2		大雨・洪水 注意報		避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1		早期注意情報		災害への心構えを高めましょう。

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

防災
まちの
情報

「避難情報発令の判断・伝達マニュアル」は、大雨洪水や土砂災害の発生のおそれがある時に適切な避難指示等を発令するため、避難対象区域の設定や避難情報の発令判断のタイミング、住民のみなさんへの伝達方法を取りまとめたものです。このマニュアルは市のホームページで閲覧できます。

(<http://www.city.furano.hokkaido.jp/docs/2015022200114/>)



自主防災組織を結成し、地域で地域を守る取組を！

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づき、災害による被害の予防・軽減のための活動を行う組織です。

平常時の活動例

- 防災知識の普及
- 災害危険箇所の把握
- 防災訓練の実施
- 防災用資機材などの点検 など

災害時の活動例

- 情報収集・伝達
- 初期消火・救出・救護
- 住民の避難誘導
- 生活物資の配給 など

助け合って避難しましょう。

高齢者、障がい者、乳幼児など、災害時に特に配慮を必要とする方のことを「要配慮者」といいます。

また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方を「避難行動要支援者」として位置付けています。

避難情報発令時には地域ぐるみで助け合い、要配慮者・避難行動要支援者の避難支援をしましょう。

目の不自由な方



安全な場所まで誘導する。

耳の不自由な方



メモなどで正確な情報を伝える。

肢体の不自由な方



介助は2人で行う。声をかけ安心できるようにする。

避難情報の 入手方法

● 広報車・訪問



● テレビ・ラジオ



● 市HP、SNS
メール



● 自治会、
自主防災組織



● サイレン
(60秒)



非常用持出品

必要なものをリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしましょう。

必需品	懐中電灯 	飲料水 (1日1人3ℓ) 	非常食 	貴重品 	救急セット
	携帯ラジオ・予備電池 	タオル・毛布 	衣類・下着類 	使い捨てカイロ 	携帯電話・モバイルバッテリー
必要に応じて準備					ビニール袋・ティッシュ ろうそく・マッチ・ライター 粉ミルク・哺乳びん・紙おむつ 使い捨て食器 石鹸、ドライシャンプー 軍手、くつ ヘルメット 携帯用ナイフ

飲料水・非常食については、最低3日分(できれば1週間分)を備えておきましょう。

ペットと一緒に避難する方は...

市では、犬・猫などのペットと一緒に避難所へ避難(同行避難)する場合、ペット専用スペースを指定します。飼い主は、同行避難に備え、日ごろから、ケージ等に慣らしておく、むやみに吠えないようにするなどのしつけや、リード、ケージ、ペット用の食料・トイレ用品など、非常用持ち出し品の準備を心がけましょう。



防災
まちの
情報

富良野市では避難所を下記の4つに区分しています。

- 1 広域避難場所：公園・公共施設のグラウンド等
- 2 指定一般避難所：被災者が一定期間避難生活を送れる規模の学校等の施設
- 3 指定緊急避難場所：一時的に身を守るための施設
- 4 指定福祉避難所：高齢者や障がいのある人等のための避難所

自助・共助

風水害

地震

雪害
噴火

洪水
ハザードマップ

内水
ハザードマップ